



NOMURA

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

米国会計基準(US GAAP)

2026年1月

野村ホールディングス株式会社

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

© Nomura

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 安定収益の推移(P4)
- 2026年3月期決算の概要(P5)
- セグメント情報(P6)
- ウェルス・マネジメント部門(P7-9)
- インベストメント・マネジメント部門(P10-11)
- ホールセール部門 (P12-14)
- バンキング部門(P15)
- 金融費用以外の費用(P16)
- 強固な財務基盤を維持(P17)

Financial Supplement

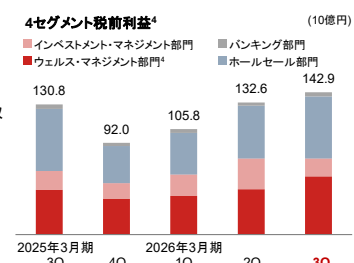
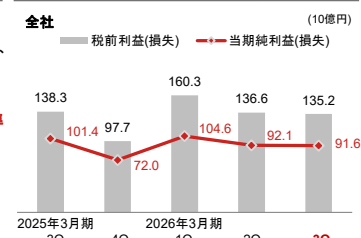
- バランス・シート関連データ(P19)
- バリュースコア・リスク(P20)
- 連結決算概要(P21)
- 連結損益(P22)
- 連結決算：主な収益の内訳(P23)
- 連結決算：セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P24)
- セグメント「その他」(P25)
- ウェルス・マネジメント部門関連データ(P26-29)
- インベストメント・マネジメント部門関連データ(P30-31)
- ホールセール部門関連データ(P32)
- 人員数(P33)

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2026年3月期第3四半期の決算ハイライト

- ROE¹は10.3%と7四半期連続で8~10%+の目標を達成
 - 収益:5,518億円(前四半期比7%増)、税前利益:1,352億円(同1%減)、当期純利益²:916億円(同1%減)、EPS³:30.19円、ROE¹:10.3%
 - 4セグメントは堅調、その他セグメントはデジタル・アセット関連事業で市況悪化の影響を受け損失を計上
- 4セグメントの税前利益⁴1,429億円(前四半期比8%増)は、2007年4-6月期⁵以来、18年半ぶりの高水準
- ウェルス・マネジメント部門:
 - 2025年3月期に包括的な資産管理サービスを本格展開して以降、ストック収入・フロー収入等は過去最高を更新。ストック資産の純増額は5,000億円超の水準
 - 前四半期比で約30%の増益を達成。税前利益率は40%を上回る高水準
- インベストメント・マネジメント部門:
 - 2025年12月1日にマッコーリー・グループのパブリック・アセットマネジメント事業の買収を完了 ~運用資産残高は134.7兆円へ大幅に増加。事業収益は部門設立以降で最高
 - 一方、投資損益の減収、買収に伴う一時費用の計上に伴い減益
- ホールセール部門:
 - グローバル・マーケットは、エクイティが前四半期に続き過去最高収益⁶を更新
 - インベストメント・バンキングは全地域で増収。日本のECM案件の回復等もあり、過去最高収益⁶を計上
- バンキング部門:
 - 堅調に推移。ローン実行は順調に推移。投資信託は新規設定の取り込みやマーケット要因から拡大
- 株主還元 ~ 自己株式取得を決議
 - 取得株式総額: 上限1億株
 - 取得価額総額: 上限600億円
 - 期間: 2026年2月17日~9月30日

税前利益、当期純利益²の推移



1. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出 2. 当社株主に帰属する当期純利益 3. 希薄化後一様当たり当社株主に帰属する当期純利益
 4. 2025年4月のバンキング部門前取扱いに伴い、ウェルス・マネジメント部門に前取扱いしていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を適次修正
 5. 2007年4-6月とはセグメント区分が一部異なる 6. 比較可能Q2017年3月期以降

それでは、2026年3月期第3四半期の決算についてご説明いたします。2ページをご覧ください。本四半期のROEは10.3%となり、2030年の定量目標である「8~10%+」を7四半期連続で達成しています。連結収益は5,518億円、前四半期比で7%の増収、税前利益は1,352億円、1%の減益、当期純利益は916億円、1%の減益、EPSは30.19円となりました。4セグメントは堅調に推移する一方、その他セグメントでは、デジタル・アセット関連事業で市況悪化の影響を受け損失を計上しています。

4セグメントの状況について簡単に説明します。税前利益は1,429億円、8%の増益。2007年4-6月期以来、18年半ぶりの高水準となっています。ウェルス・マネジメント部門においては好調であった前四半期をさらに上回り約30%の増益を達成。インベストメント・マネジメント部門では昨年12月1日に買収したマッコーリー・グループのパブリック・アセットマネジメント事業の連結を開始、事業収益は部門設立以降で最高となっていますが、投資損益の減収や買収に伴う一時費用の計上で減益となっています。また、ホールセール部門においてはエクイティとインベストメント・バンキングビジネスが過去最高の収益を達成し、堅調に推移。バンキング部門についても貸出業務や信託・エージェント業務からの収入が堅調に推移しています。

こうした業績モメンタムを背景に、株主還元と資本効率の向上のため、本日、自己株式の取得を決議いたしました。株数の上限を1億株、金額の上限を600億円、期間は本年2月17日から9月30日とします。

各ビジネスの詳細に入る前に、第3四半期までの9カ月の連結業績について、簡単にご説明します。3ページをご覧ください。

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

2026年3月期第1-3四半期累計の決算ハイライト

- 税前利益: 4,321億円(前年同期比15%増)、当期純利益¹: 2,882億円(前年同期比7%増)、EPS²: 94.67円、ROE³: 10.8%
 - 主要4セグメントが好調 ~収益基盤の質的向上と成長を両立
- 4セグメント合計の税前利益は3,813億円(前年同期比10%増)
 - ウェルス・マネジメント部門: 税前利益は高水準。前年同期比で、**ストック収入費用カバー率は8ポイント上昇し71%、業績安定化が加速**
 - インベストメント・マネジメント部門: 戦略買収に伴う先行コストの影響等で減益も、**既存事業のオーガニックな成長とあわせ事業基盤を着実に拡大**
 - ホールセール部門: **税前利益は前年同期比22%増**。すべてのビジネスラインが高水準で推移し、**全社業績を大きく牽引**
 - バンキング部門: 来年度の預金スイープ導入に向けたシステム更新に伴う償却費負担により減益も、**ローンや投信受託残高は順調に拡大**

| | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 前年同期比 | 税前利益:セグメント情報 ⁴ | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 前年同期比 |
|--------------------|-----------|----------------|------------|---------------------------|----------|----------------|-------|
| | 第1-3四半期 | 第1-3四半期 | | | 第1-3四半期 | 第1-3四半期 | |
| | 累計 | 累計 | | | 累計 | 累計 | |
| 収益(金融費用控除後) | 1兆4,398億円 | 1兆5,905億円 | 10% | ウェルス・マネジメント部門 | 1,303億円 | 1,428億円 | 10% |
| 税前利益 | 3,742億円 | 4,321億円 | 15% | インベストメント・マネジメント部門 | 741億円 | 702億円 | -5% |
| 当期純利益 ¹ | 2,688億円 | 2,882億円 | 7% | ホールセール部門 | 1,288億円 | 1,573億円 | 22% |
| EPS ² | 87.66円 | 94.67円 | 8% | バンキング部門 | 133億円 | 110億円 | -18% |
| ROE ³ | 10.4% | 10.8% | | 4セグメント合計 | 3,464億円 | 3,813億円 | 10% |
| | | | | その他 | 292億円 | 466億円 | 60% |
| | | | | 営業目的で保有する投資持分証券の評価損益 | -14億円 | 43億円 | - |
| | | | | 税前利益合計 | 3,742億円 | 4,321億円 | 15% |

1. 当社株主に帰属する当期純利益
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
4. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門の一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遡及修正

左下にありますように、税前利益は4,321億円、前年比15%の増益、当期純利益は2,882億円、7%の増益、EPSは94.67円、ROEは10.8%となっています。

右下は税前利益の内訳です。主要4セグメントの税前利益合計は3,813億円、10%の増益となっています。2030年に向けた経営ビジョンにある税前利益5,000億円超の目標に対して、9カ月経過した時点でやや上回って推移しています。

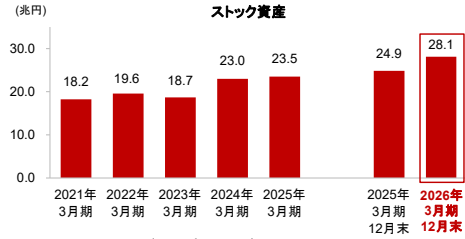
セグメント別に見ますと、ウェルス・マネジメント部門は高水準の利益を継続し、前年同期比でストック収入費用カバー率は大幅に上昇、収益の安定性が向上しています。インベストメント・マネジメント部門は買収に伴う一時費用の影響等で減益となっていますが、既存事業はオーガニックに成長を続けており、部門としてさらなる成長のための事業基盤を着実に拡大しています。また、ホールセール部門はすべてのビジネスラインが高水準で推移し、全社業績を大きく牽引しています。バンキング部門については来年度の預金スイープ導入に向けて費用が上昇していますが、ローンや投信受託残高は順調に積み上がっています。

それでは、第3四半期の各セグメントについて、ご説明します。7ページをご覧ください。なお、今から申し上げるパーセンテージは、すべて前四半期との比較になります。

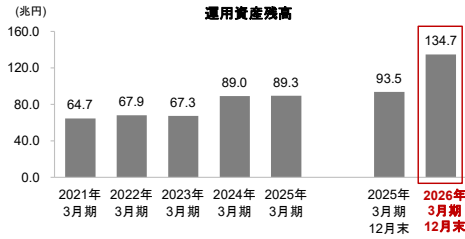
**安定収益の推移：
ストック型ビジネスの積み上げにより、成長に向けた基盤を拡大**

インフローを伴い、ストック資産および運用資産残高は増加

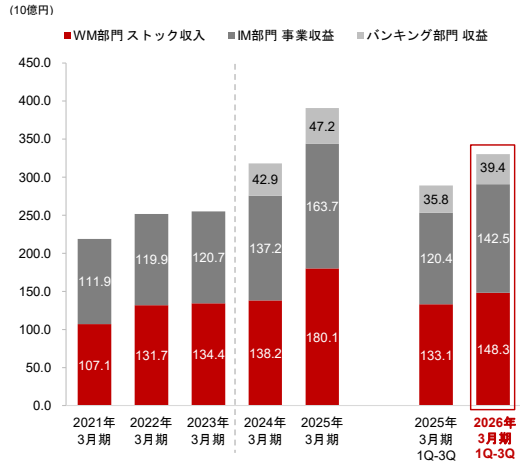
ウェルス・マネジメント部門 (WM部門)



インベストメント・マネジメント部門 (IM部門)



安定収益¹は着実に拡大²



1. ウェルス・マネジメント部門のストック収入、インベストメント・マネジメント部門の事業収益、バンキング部門の収益の合計値
 2. バンキング部門の収益の一部は従来、ウェルス・マネジメント部門のストック収入に含まれていましたが、2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2026年3月期第1四半期以降、区分して開示。2024年3月期および2025年3月期の数値については遡及修正を行ったが、それ以前の会計年度については遡及修正は行っていない

2026年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS、BPS、ROEを除く)

| | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | | 前四半期比 | 前年同期比 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 前年同期比 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-----------|-----------|-------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | | 1Q-3Q累計 | 1Q-3Q累計 | |
| 収益合計(金融費用控除後) | 502.0 | 452.7 | 523.3 | 515.5 | 551.8 | 7% | 10% | 1,439.8 | 1,590.5 | 10% |
| 金融費用以外の費用 | 363.7 | 355.0 | 363.0 | 378.8 | 416.5 | 10% | 15% | 1,065.5 | 1,158.4 | 9% |
| 税前利益 | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 | -1% | -2% | 374.2 | 432.1 | 15% |
| 当期純利益 ¹ | 101.4 | 72.0 | 104.6 | 92.1 | 91.6 | -1% | -10% | 268.8 | 288.2 | 7% |
| 実効税率 | 24.7% | 24.3% | 32.9% | 29.9% | 30.1% | | | 27.0% | 31.1% | |
| EPS ² | 33.08円 | 23.39円 | 34.04円 | 30.49円 | 30.19 | -1% | -9% | 87.66円 | 94.67円 | 8% |
| BPS ³ | 1,207.81円 | 1,174.10円 | 1,177.31円 | 1,188.05円 | 1,244.72円 | 5% | 3% | 1,207.81円 | 1,244.72円 | 3% |
| ROE ⁴ | 11.8% | 8.2% | 12.0% | 10.6% | 10.3% | | | 10.4% | 10.8% | |
| (参考) | | | | | | | | | | |
| 海外拠点税前利益 ⁵ | 51.8 | 28.5 | 27.5 | 44.9 | 16.3 | -64% | -69% | 108.5 | 88.6 | -18% |

1. 当社株主に帰属する当期純利益 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益 3. 一株当たり株主資本 4. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
 5. 米州、欧州、アジアオセアニアのボワイノフィスを含む 6. 米国会計原則に基づき「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法
 主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント情報

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

| (10億円) | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | | 前四 半期比 | 前年 同期比 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 前年 同期比 |
|----------------------|-----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | | 1Q-3Q累計 | 1Q-3Q累計 | |
| 収益 | ウェルス・マネジメント部門 ¹ | 111.6 | 99.9 | 105.8 | 116.5 | 132.5 | 14% | 19% | 333.6 | 354.8 | 6% |
| | インベストメント・マネジメント部門 | 45.7 | 43.0 | 50.6 | 60.8 | 60.9 | 0% | 33% | 149.5 | 172.3 | 15% |
| | ホールセール部門 | 290.5 | 259.2 | 261.1 | 279.2 | 313.9 | 12% | 8% | 798.8 | 854.2 | 7% |
| | バンキング部門 ¹ | 12.3 | 11.4 | 12.8 | 12.9 | 13.7 | 7% | 12% | 35.8 | 39.4 | 10% |
| | 4セグメント合計¹ | 460.1 | 413.5 | 430.3 | 469.3 | 521.0 | 11% | 13% | 1,317.6 | 1,420.6 | 8% |
| | その他(※) ¹ | 41.2 | 39.4 | 93.2 | 44.4 | 28.1 | -37% | -32% | 123.5 | 165.6 | 34% |
| | 営業目的で保有する投資持分証券の評価損益 | 0.6 | -0.2 | -0.1 | 1.8 | 2.7 | 51% | 3.3x | -1.4 | 4.3 | - |
| 収益合計(金融費用控除後) | 502.0 | 452.7 | 523.3 | 515.5 | 551.8 | 7% | 10% | 1,439.8 | 1,590.5 | 10% | |
| 税前利益 (損失) | ウェルス・マネジメント部門 ¹ | 44.8 | 35.9 | 38.8 | 45.5 | 58.5 | 29% | 31% | 130.3 | 142.8 | 10% |
| | インベストメント・マネジメント部門 | 18.9 | 15.5 | 21.5 | 30.7 | 17.9 | -42% | -5% | 74.1 | 70.2 | -5% |
| | ホールセール部門 | 62.4 | 37.5 | 41.9 | 53.1 | 62.3 | 17% | 0% | 128.8 | 157.3 | 22% |
| | バンキング部門 ¹ | 4.7 | 3.1 | 3.6 | 3.2 | 4.2 | 31% | -10% | 13.3 | 11.0 | -18% |
| | 4セグメント合計¹ | 130.8 | 92.0 | 105.8 | 132.6 | 142.9 | 8% | 9% | 346.4 | 381.3 | 10% |
| | その他(※) ¹ | 6.9 | 5.9 | 54.6 | 2.3 | -10.3 | - | - | 29.2 | 46.6 | 60% |
| | 営業目的で保有する投資持分証券の評価損益 | 0.6 | -0.2 | -0.1 | 1.8 | 2.7 | 51% | 3.3x | -1.4 | 4.3 | - |
| 税前利益(損失) 合計 | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 | -1% | -2% | 374.2 | 432.1 | 15% | |

※ 2026年3月期第3四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する損失(-10億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(-6億円)

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遷及修正

ウェルス・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 前四 半期比 | 前年 同期比 | |
|---------------|----------|------|----------|-------|-----------|-----------|-----|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | 3Q |
| 収益合計(金融費用控除後) | 111.6 | 99.9 | 105.8 | 116.5 | 132.5 | 14% | 19% |
| 金融費用以外の費用 | 66.8 | 64.0 | 67.0 | 71.0 | 74.0 | 4% | 11% |
| 税前利益 | 44.8 | 35.9 | 38.8 | 45.5 | 58.5 | 29% | 31% |

収益の内訳¹

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 前四 半期比 | 前年 同期比 | |
|----------------------------|----------|------|----------|-------|-----------|-----------|-----|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | 3Q |
| ストック収入 ^{1,2} | 45.7 | 47.0 | 44.5 | 51.2 | 52.7 | 3% | 15% |
| フロー収入等 ³ | 65.9 | 52.9 | 61.3 | 65.3 | 79.8 | 22% | 21% |
| 収益合計(金融費用控除後) ¹ | 111.6 | 99.9 | 105.8 | 116.5 | 132.5 | 14% | 19% |

決算のポイント

収益: 1,325億円 (前四半期比14%増、前年同期比19%増)
 税前利益: 585億円 (前四半期比29%増、前年同期比31%増)

- 税前利益は前四半期をさらに上回り、約30%増
 - ストック資産が大幅純増となり、ストック収入の着実な積み上げに貢献
 - 顧客アクティビティの拡大がフロー収入を押し上げ、業績をけん引
 - 費用増を抑制、税前利益率は40%を上回る高水準
 - ストック収入費用カバー率は71%に達し、業績安定化が加速

ストック収入

- ストック資産の純増額は過去最高(+5,039億円) ~前四半期に引き続き主要マーケットが高水準にあるなか、資産管理ビジネスが一段と進展
- ストック収入も過去最高 ~半期ごとに収受する投資助言報酬の剥落を、幅広い商品における収益の伸長で吸収

フロー収入等

- フロー収入等は前四半期比22%増 ~株式や投資信託を中心に顧客アクティビティが一段と活発化

| 資産拡大項目 | 2026年3月期 | 2026年3月期 |
|---------------------|----------|----------|
| | 2Q | 3Q |
| 投信純増 ⁵ | +1,768億円 | +3,693億円 |
| 投資一任純増 ⁶ | +652億円 | +1,043億円 |
| 現金本券差引 ⁶ | +7,444億円 | -4,606億円 |

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を適正
 2. 株高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベリフィー等)
 3. 取引に付随して発生する収入(フロー・カレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
 4. 直近4四半期累計のストック収入を金融費用以外の費用で除したのもの
 5. 法人課を除く
 6. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

左上の通り、ウェルス・マネジメント部門の収益は1,325億円、14%の増収、税前利益は585億円と好調であった前四半期をさらに上回り、29%の増益となりました。税前利益率は40%超と業界水準を上回り、高い収益性となっています。

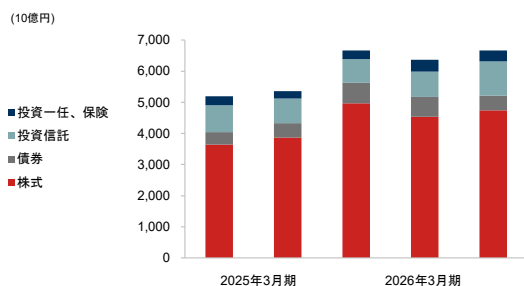
左下にありますように、ストック収入は527億円と過去最高を更新しています。ストック収入には第2四半期と第4四半期のみで認識する投資助言報酬があり、今期はその計上がない谷間に当たりますが、5,000億円超のストック資産の純増を伴いながら、その反動減を完全に吸収しています。

さらに、フロー収入は798億円と大幅に増収。顧客ニーズと相場変動を的確に捉えつつ、新規募集商品の提供なども寄与し、高水準の収益を実現しています。

また、継続的なコスト・コントロールの取り組みもあいまって、ストック収入費用カバー率は71%と前四半期から1ポイント上昇しています。

**ウェルス・マネジメント部門：
長期分散投資を前提とした資産の買付がさらに伸長**

総募集買付額¹⁾



総募集買付額¹⁾は6兆6,634億円 前四半期比5%増
幅広い商品において高水準の買付けが継続

- 株式：前四半期比4%増
- 大型プライマリー案件の貢献に加え、マーケットの調整局面を捉えたセカンダリー取引の増加により国内株式が伸長
- 債券販売額：前四半期比25%減
- 円金利の上昇等を背景に国内債の需要は堅調、販売額は前期比横ばい
- 前四半期のプライマリー案件の剥落により、外債販売額は減少
- 投資信託：前四半期比34%増
- 長期分散投資ニーズは引き続き底堅く、新規募集商品や成長株関連ファンドを中心に資金が流入
- 投資一任契約：前四半期比18%増
- 質の高いサービス提供によりSMAの契約額が大きく伸長
- 保険販売額：前四半期比28%減
- 前四半期比では減少も、相続対策ニーズに対応した保険商品の販売額が引き続き高水準

| | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 株式 | 3,644.4 | 3,870.6 | 4,967.5 | 4,539.9 | 4,741.3 |
| 債券 | 399.8 | 462.7 | 660.6 | 633.4 | 473.4 |
| 投資信託 | 863.4 | 791.0 | 754.7 | 815.2 | 1,095.1 |
| 投資一任 | 174.4 | 149.5 | 140.2 | 187.0 | 221.0 |
| 保険 | 109.4 | 87.1 | 137.3 | 185.5 | 132.7 |
| 総募集買付額¹⁾ | 5,191.4 | 5,360.9 | 6,660.3 | 6,361.0 | 6,663.4 |

1. 法人課およびワークプレイス・ソリューション部を除く

プロダクト別の募集買付状況について、8ページでご説明します。

総募集買付は約6.6兆円と、幅広い商品において買付けが伸びたことで、前四半期から約3,000億円増加しています。

株式は大型プライマリー案件の貢献に加え、マーケットの調整局面を捉えたセカンダリー取引の増加により4%増加。

債券は25%の減少。円金利の上昇により円建て債券の利回り水準が改善し、需要は底堅く推移し横ばい、一方で外債は前四半期のプライマリー案件が剥落した影響で減少しています。

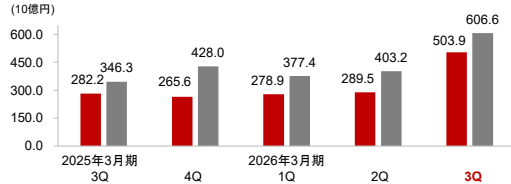
ストック資産を構成する投資信託や投資一任は着実に伸び、保険も引き続き高水準で推移しています。これは「貯蓄から投資へ」の流れが定着した証左であると考えています。

ウェルス・マネジメント部門：KPIサマリー

ストック資産純増¹

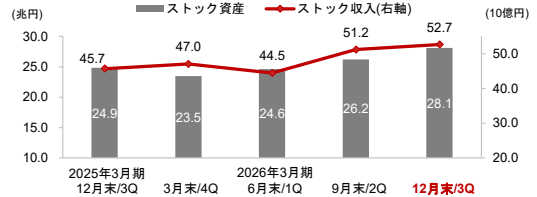
■ 15四半期連続の純増。部門合計、法人課以外ともに過去最高

■ ウェルス・マネジメント部門合計 ■ うち、法人課以外



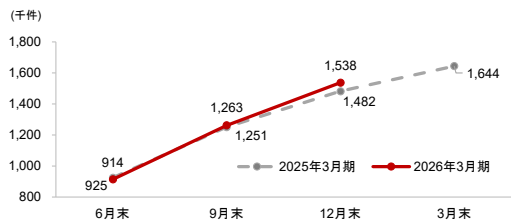
ストック資産およびストック収入^{2,3}

■ 高水準のストック資産純増と好調なマーケット環境を受け、期末ストック資産・ストック収入はともに過去最高を更新



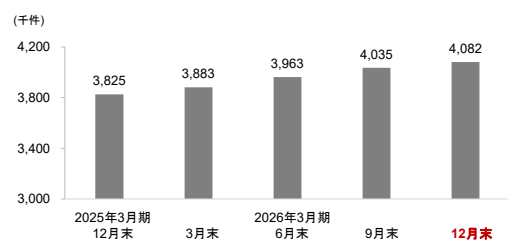
フロービジネス顧客数

■ 12月末時点において過去最高水準で推移



ワークプレースサービス提供数

■ 持株会関連を中心に順調に伸長し、堅調に推移



1. 投資分配金による純減を含まず、レベリフィー等口座内の投資純増を控除した数値 2. 孫高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資債権、投資一任、保険、ローン、レベリフィー等)
3. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を適正修正

続きましてKPIIについて9ページでご説明します。

左上のストック資産純増は5,039億円。主要マーケットの最高値更新に伴う資金化ニーズは見られたものの、過去最高の純増を確保、ストックビジネス拡大の取り組みが着実に成果を上げ、自信を深めています。

右上の12月末のストック資産は28.1兆円となり、こちらも過去最高の水準となっています。

左下のフロービジネス顧客数は153万件と前四半期から約27万件増えています。好調なマーケットを背景とした顧客アクティビティの活発化や、SBI新生銀行のIPOをはじめとするプライマリー案件を契機とした取引などにより、高水準で推移しています。

インベストメント・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|---------------|----------|------|----------|------|------|-----------|-----------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | |
| 収益合計(金融費用控除後) | 45.7 | 43.0 | 50.6 | 60.8 | 60.9 | 0.1% | 33% |
| 金融費用以外の費用 | 26.8 | 27.5 | 29.0 | 30.1 | 43.0 | 43% | 60% |
| 税前利益 | 18.9 | 15.5 | 21.5 | 30.7 | 17.9 | -42% | -5% |

収益の内訳

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|-------------------|----------|------|----------|------|------|-----------|-----------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | |
| 事業収益 ² | 42.0 | 43.3 | 40.6 | 44.1 | 57.8 | 31% | 38% |
| 投資損益 ³ | 3.7 | -0.2 | 9.9 | 16.8 | 3.1 | -82% | -18% |
| 収益合計(金融費用控除後) | 45.7 | 43.0 | 50.6 | 60.8 | 60.9 | 0.1% | 33% |

- 2026年3月期第1四半期より野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティングの損益を含む。2025年12月1日よりマコーリー・グループからのパブリック・アセットマネジメント事業による損益を含む
- アセットマネジメント事業、航空機リース関連事業の収益およびプライベート・アセット等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
- アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益、プライベート・アセット等の投資事業および投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成
- 買収完了(2025年12月1日)以降2026年3月期第3四半期末まで

10

決算のポイント

収益: 609億円 (前四半期比0.1%増、前年同期比33%増)
 税前利益: 179億円 (前四半期比42%減、前年同期比5%減)

- 2021年4月の部門設立以降で事業収益は最高
 - 市場要因およびマコーリー・グループからの事業買収完了により運用資産残高も134.7兆円と過去最高
- 買収事業に帰属する経費や無形固定資産償却費⁴および一時的な買収関連費用の計上に伴い、費用が増加

事業収益

- 収益: 578億円 (前四半期比31%増、前年同期比38%増)
 - アセットマネジメント・ビジネスは引き続き堅調 ~ 運用報酬は過去最高を更新、成功報酬も増加
 - 11四半期連続の資金純流入を達成
 - 航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンは前四半期から増収

投資損益

- 収益: 31億円 (前年同期比82%減、前年同期比18%減)
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益が収益に貢献するも、前四半期比では減少
 - 野村キャピタル・パートナーズ投資先企業に係る売却益の剥落により、前四半期から減収

続いて、インベストメント・マネジメント部門です。10ページにお進みください。

左上の通り、収益は609億円と前四半期比でほぼ横ばい、税前利益は179億円と42%の減益となりました。投資損益に含まれるアメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益の縮小や一時的な買収関連費用の計上により減益となりました。

収益の内訳について説明します。左下にありますように、安定収益である事業収益は578億円と過去最高水準。国内のアセットマネジメント・ビジネスの堅調さに加え、昨年12月に買収を完了した事業からの収益貢献が背景にあります。一方で投資損益はアメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連の収益減や、野村キャピタル・パートナーズ投資先の売却益剥落により低下しています。

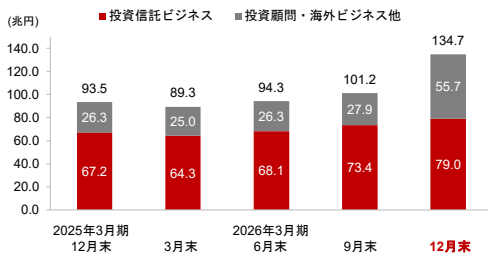
こうした投資損益の減収や、買収に伴う一時費用の計上により、部門として減益となっていますが、連結決算においては繰延税金資産に対する評価性引当金を取り崩したことで、税引後の連結純利益での影響は相殺されています。

それでは、事業収益の基盤となっているアセットマネジメント事業の状況について11ページでご説明します。

インベストメント・マネジメント部門:

運用資産残高はオルタナティブ資産を含め過去最高を継続

運用資産残高(ネット)¹



運用資産残高は12月1日に買収が完了したマッコーリー・グループ対象事業が貢献

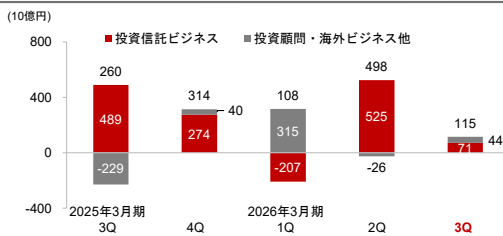
国内投資信託ビジネス

- 投信(ETF、MRF等除く)、MRF等に流入もETFは流出
- 投信(ETF、MRF等除く): 新規設定の日本株アクティブやプライベート・アセット、バランス型に資金が流入
- ETF: 株式市場の上昇で取引は活発も流出超

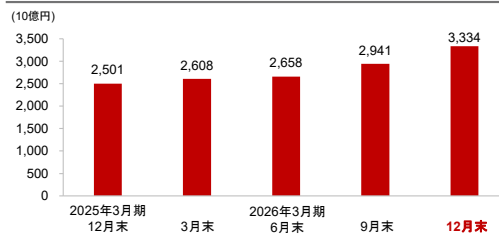
国内投資顧問及び海外ビジネス他

- 国内は、円債を中心に資金が流入
- 海外は、米国ハイ・イールド債や買収対象事業から資金が流出も、日本株等を中心に流入

資金純流入²



オルタナティブ運用資産残高³は資金純流入を伴い過去最高を更新



1. 運用資産残高(ネット)は、インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの
 2. 運用資産残高(ネット)に基づく
 3. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高およびその他インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社のプライベート・アセット等の運用資産残高の合計

左上の通り、12月末の運用資産残高は134.7兆円、過去最高を更新しています。

左下にありますように資金純流入は1,150億円、11四半期連続の資金純流入を継続しています。国内投資信託ビジネスは、ETFにおける株価上昇に伴う利益確定の売り、日本株投信の繰上げ償還により、資金が流出したものの、新規設定の日本株アクティブやプライベート・アセット、バランス型に資金が流入し、結果710億円の流入となっています。国内投資顧問・海外ビジネスは米国ハイ・イールド債や買収事業から資金が流出したものの、国内で円債を中心に資金が流入し、結果440億円の流入となっています。

また、右下にあるオルタナティブ運用資産残高は過去最高の3.3兆円まで増加しています。9月末から約4,000億円の増加、うち半分超が資金流入となっています。

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 前四 半期比 | 前年 同期比 | |
|---------------------------|----------|-------|----------|-------|-----------|-----------|-------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | 3Q |
| 収益合計(金融費用控除後) | 290.5 | 259.2 | 261.1 | 279.2 | 313.9 | 12% | 8% |
| 金融費用以外の費用 | 228.2 | 221.7 | 219.2 | 226.0 | 251.6 | 11% | 10% |
| 税前利益 | 62.4 | 37.5 | 41.9 | 53.1 | 62.3 | 17% | -0.1% |
| 経費率 | 79% | 86% | 84% | 81% | 80% | | |
| 収益調整リスク・アセット ¹ | 8.2% | 7.3% | 6.9% | 7.1% | 7.8% | | |

決算のポイント

収益: 3,139億円 (前四半期比12%増、前年同期比8%増)
 税前利益: 623億円 (前四半期比17%増、前年同期比0.1%減)

- 前四半期からの好調な業績トレンドを維持し、増収増益
 - グローバル・マーケットはエクイティが過去最高収益を更新²
 - インベストメント・バンキングは全ての地域で増収、過去最高収益を更新²
 - 地域別では、日本の収益が過去最高²。米州では金利プロダクト、エクイティ・プロダクトが好調で増収

ビジネスライン別の収益

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 前四 半期比 | 前年 同期比 | |
|----------------|----------|-------|----------|-------|-----------|-----------|-----|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | 3Q |
| グローバル・マーケット | 239.0 | 206.9 | 223.1 | 235.7 | 256.8 | 9% | 7% |
| インベストメント・バンキング | 51.5 | 52.3 | 37.9 | 43.5 | 57.1 | 31% | 11% |
| 収益合計(金融費用控除後) | 290.5 | 259.2 | 261.1 | 279.2 | 313.9 | 12% | 8% |

地域別収益

| (10億円) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | |
|-------------|----------|-------|----------|-------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q |
| 米州 | 108.5 | 109.9 | 100.6 | 107.4 |
| 欧州 | 53.5 | 45.5 | 45.0 | 43.7 |
| アジア | 54.6 | 40.5 | 46.0 | 49.1 |
| 日本 | 73.9 | 63.3 | 69.5 | 79.0 |
| 合計 | 239.0 | 206.9 | 223.1 | 235.7 |
| 2026年3月期 3Q | 124.1 | 54.0 | 48.5 | 87.3 |

1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したものを、調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼルⅢ規制のリスク・アセットと、(2)バーゼルⅢ規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計。なお、2026年3月期1Qより、バーゼルⅢ最終化後ベース

2. 比較可能な2017年3月期以降

次にホールセール部門です。12ページをご覧ください。

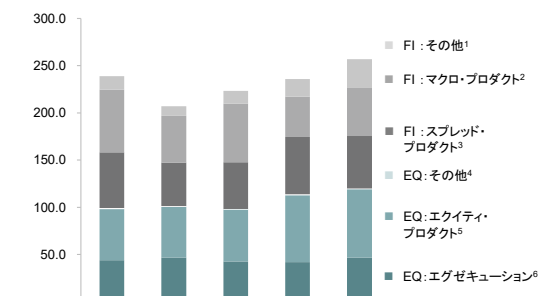
左上の通り、ホールセール部門の収益は3,139億円、12%の増収、税前利益は623億円、17%の増益となっています。内訳は左下にありますように、グローバル・マーケットは9%の増収、インベストメント・バンキングは31%の増収となっています。

では、ビジネスラインごとに説明します。13ページをご覧ください。

ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



| | 2025年3月期 | | | 2026年3月期 | | | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|--------------------|----------|-------|-------|----------|-------|-----|-----------|-----------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | | |
| フィクスト・ インカム(FI) | 139.9 | 105.8 | 124.8 | 121.9 | 136.9 | 12% | -2% | |
| エクイティ (EQ) | 99.1 | 101.1 | 98.3 | 113.8 | 119.9 | 5% | 21% | |
| グローバル マーケット | 239.0 | 206.9 | 223.1 | 235.7 | 256.8 | 9% | 7% | |

決算のポイント

収益: 2,568億円 (前四半期比9%増、前年同期比7%増)

- フィクスト・インカムは、金利プロダクトや為替/エマーゼキングが伸長
- エクイティは過去最高収益を更新⁷ ~エグゼクティブ・プロダクトが過去最高収益⁷

フィクスト・インカム

- 収益: 1,369億円 (前四半期比12%増、前年同期比2%減)
- マクロ・プロダクト: 金利プロダクトは顧客アクティビティの増加を受けて米州と日本が増収。為替/エマーゼキングは欧州が増収となった他、アジアが前四半期から回復
- スプレッド・プロダクト: クレジットは投資家の様子見姿勢によりアジアが減収。証券化商品は米州中心に高水準を維持

エクイティ

- 収益: 1,199億円 (前四半期比5%増、前年同期比21%増)
- エクイティ・プロダクト: 顧客フローの増加を背景に、デリバティブが好調だった米州が大幅増収
- エグゼクティブ・プロダクト: プライマリー案件の貢献もあり、日本が大幅増収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益 2. 金利プロダクト、為替/エマーゼキング 3. クレジット、証券化商品
4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益 5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、ブラム・サービス 6. 株式執行ビジネス 7. 比較可能な2017年3月期以降

まず、グローバル・マーケット収益は2,568億円、9%の増収となりました。

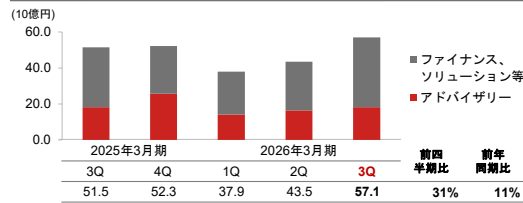
右側の中ほどをご覧ください。フィクスト・インカム収益は1,369億円、12%の増収です。マクロ・プロダクトでは、金利プロダクトは顧客フローの増加を受けて米州と日本が増収、為替/エマーゼキングは欧州が増収、アジアも前四半期から回復しています。スプレッド・プロダクトでは、クレジットは投資家の様子見姿勢によりアジアが減収、証券化商品は米州中心に高水準を維持しています。

エクイティ収益は1,199億円、5%の増収、過去最高の収益を更新しています。エクイティ・プロダクトはデリバティブ・ビジネスが好調だった米州が大幅に増収、エグゼクティブ・プロダクトはプライマリー案件の貢献もあり日本が大幅に増収となっています。

続きまして14ページをご覧ください。

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

収益: 571億円(前四半期比31%増、前年同期比11%増)

- 比較可能な2017年3月期以降、四半期ベースで最高収益を達成
- 日本では活発なコーポレート・アクションが継続。ECMの回復も寄与し、日本の収益は過去最高を記録
- 海外ではM&AやALF等を中心に好調、全ての地域において前四半期比で増収

アドバイザー

- 国内はMBOや非公開化、クロスボーダー案件等を多数執行し、好調なモメンタムを維持
- 海外は欧州やアジアを中心に、注力セクターの案件を含め複数関与し、増収に寄与

ファイナンス、ソリューション等¹

- ECMは国内を中心に大型のIPO、PO案件に複数関与。自己株式取得や政策保有株の売却ニーズを捉えたソリューション関連も増収に寄与
- DCMは国内において引き続き高水準を継続

代表的な案件

アドバイザー

- 住友商事によるSCSKの非公開化 (8,818億円)
- サッポロホールディングスによるサッポロ不動産開発のKKRとPAGへの売却 (5,047億円)
- Gutsche Family Investmentsを含む株主によるCoca-Cola Beverages South AfricaのCoca-Cola HBC (スイス)への売却 (\$3.7bn)
- アサヒグループによるDiageo KenyaおよびUDV (Kenya)の一部持分のDiageo (英)からの取得 (合計: \$3.0bn)
- JFEによるBhushan Power & Steel (印)の一部持分のJSW Steel (印)からの取得 (INR 157bn (\$1.8bn))
- BlackstoneによるFederal Bank (印)のマイノリティ持分の取得 (INR 61bn (\$706mn))
- Vauban Infrastructure Partners によるTowerlink (仏)のCellnex (西)からの取得 (€391mn)
- ソニーグループによるソニーフィナンシャルグループのスピノフ (1兆388億円) (3Q以前に公表、2025年10月完了)

ファイナンス、ソリューション等

- SBI新生銀行: IPO (3,702億円)
- 豊田合成: PO (1,151億円)
- Medline(米): IPO (\$7.2bn)
- ソフトバンクグループ: リテール債 (5,000億円) / 米ドル建てハイブリッド債 (\$2.0bn)

倍増した日本M&A市場と野村のプレゼンス

日本関連M&A取引金額²(暦年ベース) 日本関連M&Aリーゲーター²(2025年暦年)



1. ECM, DCM, 買収レバレッジド・ファイナンス(ALF)、グローバル・マーケットとの共営ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない利益

2. 出所: LSEG (2026年1月27日時点)、RV: Rank Value

左下の通り、インベストメント・バンキングの収益は571億円、31%の増収、比較可能な2017年3月期以降、過去最高の収益を実現しています。

プロダクト別に見ますと、アドバイザーが増収。国内の非公開化やクロスボーダー案件に多数関与し日本が好調なモメンタムを維持、海外では欧州やアジアを中心に、注力セクターを含めて複数の案件を執行しています。

また、ファイナンス、ソリューション等は大幅に増収。ECMで国内を中心に大型のIPO、PO案件に関与し増収に大きく貢献。その他、ソリューション提供や国内のDCMについても引き続き高水準を継続しています。

バンキング部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益¹

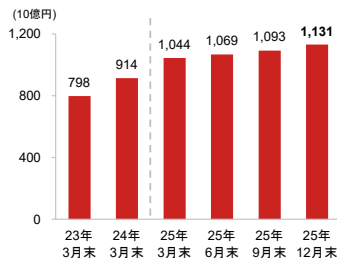
| (10億円) | 2025年3月期 | | | 2026年3月期 | | | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|---------------|----------|------|------|----------|------|-----|-----------|-----------|
| | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | | |
| 収益合計(金融費用控除後) | 12.3 | 11.4 | 12.8 | 12.9 | 13.7 | 7% | 12% | |
| 金融費用以外の費用 | 7.6 | 8.4 | 9.2 | 9.7 | 9.5 | -2% | 25% | |
| 税前利益 | 4.7 | 3.1 | 3.6 | 3.2 | 4.2 | 31% | -10% | |

決算のポイント

- 収益: 137億円 (前四半期比7%増、前年同期比12%増)
 税前利益: 42億円 (前四半期比31%増、前年同期比10%減)
- 収益は堅調に推移。ローン実行は順調に増加。投資信託は、新規設定の取り込みやマーケット要因から拡大
 - システム更改に伴う減価償却費は前四半期と同水準であるも、租税公課等の減少により、費用が減少
 - 2027年3月期導入予定の預金スイープに向けた準備は予定通り進捗中

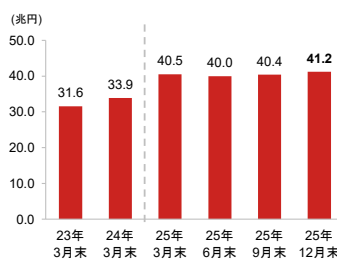
ローン残高(野村信託銀行)

- 広告戦略が奏功し野村Webローンの実行が増え、残高が順調に増加。PBローン²も順調に増加



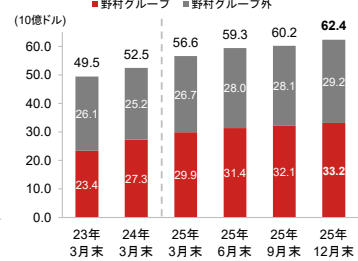
投資受託残高(野村信託銀行)³

- 委託会社の開拓や新規設定の取り込み、マーケットの追い風もあり、残高は拡大



管理資産残高(Nomura Bank Luxembourg)

- プライベートアセットに投資する公募・私募のファンドへの資金流入が加速



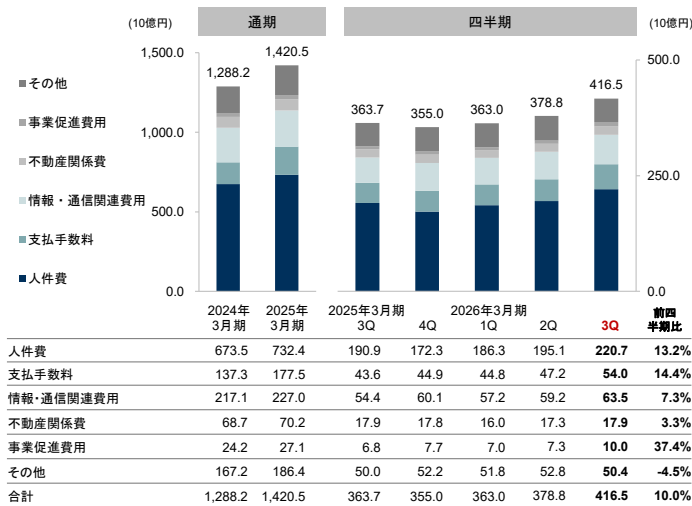
1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、ウェルス・マネジメント部門に一部含まれていたバンキングビジネス分の数字(2025年3月期以前)を遷及修正
 2. PBローンはPrivate Bankingローンの略
 3. 投資信託受託残高(野村信託銀行)は、各信託の最近決算時の資産額を合計したもの

続きまして、バンキング部門について説明します。15ページをご覧ください。

右上の通り、バンキング部門の収益は137億円、7%の増収、税前利益は42億円、31%の増益となっています。

昨年4月の部門設立後、営業や広告戦略などの効果が出始め、KPIとして掲げている残高を伸ばしながら、貸出や信託・エージェント業務からの収入は堅調です。来年度の預金スイープ導入に向けた準備も順調に進捗しています。

金融費用以外の費用



決算のポイント

金融費用以外の費用: 4,165億円
(前四半期比10%増)

- 人件費 (前四半期比13%増)
 - 業績に応じた賞与引当や、マコーリー・グループの事業買収に伴う経常費用および一時費用の増加
- 支払手数料 (前四半期比14%増)
 - 取引量の増加に伴う支払手数料の増加
- 情報・通信関連費用 (前四半期比7%増)
 - ITサービスの契約や更新等に伴う増加
- 事業促進費用 (前四半期比37%増)
 - 広告宣伝費等の増加

次に費用についてご説明します。16ページをご覧ください。

全社コストは4,165億円となり、前四半期比で10%、377億円の増加となりました。増加要因については右に書いた通りですが、ここには為替の影響が約90億円、買収に伴う一時費用や繰延報酬制度の一部変更に伴う一過性費用が約130億円含まれています。

その他、買収事業の経常費用、業績連動の賞与の引当、支払手数料の増加などが主な要因となりますが、いずれも将来の収益基盤の強化を目的とした戦略投資、もしくは収益に連動する変動費が中心です。今後もコスト管理を厳格に遂行し、収益性の確保に努めてまいります。

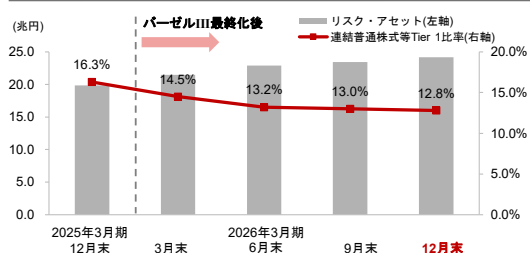
強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

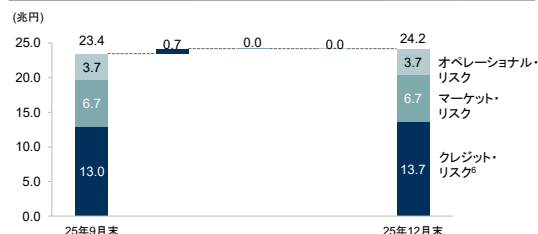
| | 2025年 3月末 | 2025年 9月末 | 2025年 12月末 ¹ |
|----------------------------------|--------------|--------------|----------------------------|
| 資産合計 | 56.8兆円 | 60.4兆円 | 61.9兆円 |
| 当社株主資本 | 3.5兆円 | 3.5兆円 | 3.7兆円 |
| グロス・レバレッジ | 16.4倍 | 17.3倍 | 17.0倍 |
| 調整後レバレッジ ¹ | 11.0倍 | 12.2倍 | 11.9倍 |
| レベル3資産(デリバティブ負債相殺後) ² | 1.3兆円 | 1.4兆円 | 1.4兆円 |
| 流動性ポートフォリオ | 10.2兆円 | 10.9兆円 | 10.8兆円 |

| (10億円) | 2025年 3月末 | 2025年 9月末 | 2025年 12月末 ² |
|---------------------------------|--------------|--------------|----------------------------|
| バーゼル3ベース | | | |
| Tier 1資本 | 3,500 | 3,574 | 3,637 |
| Tier 2資本 | 0.6 | 135.2 | 187.6 |
| 総自己資本の額 | 3,500 | 3,709 | 3,825 |
| リスク・アセット | 21,497 | 23,439 | 24,155 |
| 連結普通株式等Tier 1比率 ³ | 14.5% | 13.0% | 12.8% |
| 連結Tier 1比率 | 16.2% | 15.2% | 15.0% |
| 連結総自己資本規制比率 | 16.2% | 15.8% | 15.8% |
| 連結レバレッジ比率 ⁴ | 5.16% | 4.94% | 4.91% |
| 適格流動資産(HQLA) ⁵ | 7.2兆円 | 7.7兆円 | 8.0兆円 |
| 連結流動性カバーレージ比率(LCR) ⁵ | 234.1% | 216.5% | 212.9% |
| TLAC比率(リスクアセット・ベース) | 28.1% | 26.6% | 26.8% |
| TLAC比率(総エクスポージャーベース) | 9.9% | 9.7% | 9.8% |

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



リスク・アセットの変動²



1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 2. 2025年12月末のHQLA、LCRは確定数値、それ以外は暫定数値
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier 1資本を控除し、リスク・アセットで除したものと
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー(額・オンバランス項目・オフバランス項目)で除したものと
 5. 四半期の日次平均の値
 6. クレジット・リスクにはCVAを含む

最後に財務基盤です。17ページをご覧ください。

左下のテーブルにあるTier 1資本は約3.6兆円と、9月末から約 600億円ほど増加、またリスク・アセットも約 24兆円と、約 7,000億円ほど増加した結果、12月末の普通株式等Tier 1比率は12.8%となりました。

9月末の13.0%と比較すると低下していますが、マッコーリー・グループからの事業買収の完了に伴い規制資本比率の計算方法が変わり、約0.5%程度の押し下げ影響によるものです。

以上、第3四半期についてご説明申し上げます。

Financial Supplement

最後になりますが、当四半期は、日米の株式市場が最高値を更新する中で、安定収益の拡大とともに活発な顧客フローを収益化し、4セグメントは好調な業績を継続しています。その結果、買収に伴う一時費用等を吸収しつつ、第3四半期のROEは10.3%、9カ月累計ベースで10.8%を達成しました。

足元1月の状況について簡単に触れたいと思います。ウェルス・マネジメント部門では、1月の部門収益は第3四半期とほぼ同程度の収益水準となっています。足元のマーケット環境の下で一定の売り圧力はあるものの顧客センチメントは良好で、インフレへの備えや長期分散投資ニーズの高まりにより、家計金融資産は着実に投資ヘシフトしていると考えています。ホールセール部門については、季節要因により第4四半期は前四半期比でやや落ちる傾向がありますが、そのような中でもグローバル・マーケットは前四半期並みで推移しています。一方、インベストメント・バンキングはややスローなスタートですが、全体としてパイプラインは良好であり心配していません。

また、第3四半期においては、フィッシング詐欺による不正取引の業績へのインパクトは、殆どなかった状況です。足元の状況を踏まえると、今後も業績に与える影響は極めて限定的であると考えています。

当社は昨年12月25日に創立100周年を迎えました。今後も株主や関係者の皆様のご支援もいただきながら、成長を実現して参りたいと思います。引き続きご支援のほど、宜しく願いいたします。

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

| | 2025年 3月末 | 2025年 12月末 | 前期比 増減 | | 2025年 3月末 | 2025年 12月末 | 前期比 増減 |
|--|---------------|---------------|--------------|------------------|---------------|---------------|--------------|
| 資産 | | | | 負債 | | | |
| 現金・預金 | 5,515 | 5,997 | 482 | 短期借入 | 1,117 | 1,315 | 197 |
| 貸付金および受取債権 | 7,449 | 8,239 | 790 | 支払債務および受入預金 | 7,249 | 8,460 | 1,211 |
| 担保付契約 | 18,664 | 18,626 | -37 | 担保付調達 | 18,646 | 17,944 | -702 |
| トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹ | 22,524 | 25,728 | 3,204 | トレーディング負債 | 11,379 | 13,875 | 2,496 |
| その他の資産 ¹ | 2,651 | 3,345 | 694 | その他の負債 | 1,457 | 1,631 | 174 |
| | | | | 長期借入 | 13,374 | 14,897 | 1,523 |
| 資産合計 | 56,802 | 61,935 | 5,133 | 負債合計 | 53,221 | 58,121 | 4,899 |
| | | | | 資本 | | | |
| | | | | 当社株主資本合計 | 3,471 | 3,652 | 181 |
| | | | | 非支配持分 | 110 | 163 | 53 |
| | | | | 負債および資本合計 | 56,802 | 61,935 | 5,133 |

1. 担保差入有価証券を含む

19

バリュー・アット・リスク

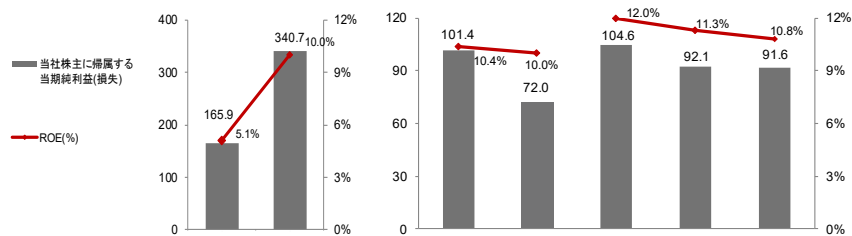
- VaRの前提
 - 信頼区間 : 95%
 - 保有期間 : 1日
 - 商品の価格変動等を考慮
- VaRの実績(10億円)
 - 期間 : 2025.4.1~2025.12.31
 - 最大 : 6.6
 - 最小 : 3.1
 - 平均 : 4.6

(10億円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | | 12月末 |
|--------------|----------|----------|----------|------|----------|------|-------------|------|
| | 3月末 | 3月末 | 12月末 | 3月末 | 6月末 | 9月末 | 12月末 | |
| 株式関連 | 3.3 | 2.0 | 3.3 | 2.0 | 3.2 | 3.6 | 4.8 | |
| 金利関連 | 2.6 | 2.1 | 2.4 | 2.1 | 2.2 | 2.2 | 2.6 | |
| 為替関連 | 2.1 | 1.5 | 1.7 | 1.5 | 1.6 | 1.5 | 1.3 | |
| 小計 | 8.0 | 5.6 | 7.4 | 5.6 | 7.0 | 7.3 | 8.7 | |
| 分散効果 | -2.5 | -1.8 | -2.3 | -1.8 | -2.5 | -2.4 | -2.5 | |
| 連結VaR | 5.5 | 3.8 | 5.1 | 3.8 | 4.5 | 4.9 | 6.2 | |

連結決算概要

(10億円)



| | 2024年3月期 | 2025年3月期 |
|--------------------------------|----------|----------|
| 収益合計(金融費用控除後) | 1,562.0 | 1,892.5 |
| 税引前当期純利益(損失) | 273.9 | 472.0 |
| 当社株主に帰属する当期純利益(損失) | 165.9 | 340.7 |
| 当社株主資本合計 | 3,350.2 | 3,470.9 |
| ROE(%) ¹ | 5.1% | 10.0% |
| 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円) | 54.97 | 115.30 |
| 希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円) | 52.69 | 111.03 |
| 1株当たり株主資本(円) | 1,127.72 | 1,174.10 |

| | 2025年3月期 3Q | 4Q | 2026年3月期 1Q | 2Q | 3Q |
|--------------------------------|-------------|----------|-------------|----------|----------|
| 収益合計 | 502.0 | 452.7 | 523.3 | 515.5 | 551.8 |
| 税引前当期純利益(損失) | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 |
| 当社株主に帰属する当期純利益(損失) | 101.4 | 72.0 | 104.6 | 92.1 | 91.6 |
| 当社株主資本合計 | 3,569.9 | 3,470.9 | 3,476.0 | 3,485.3 | 3,651.8 |
| ROE(%) | 10.4% | 10.0% | 12.0% | 11.3% | 10.8% |
| 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円) | 34.32 | 24.35 | 35.19 | 31.34 | 31.21 |
| 希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円) | 33.08 | 23.39 | 34.04 | 30.49 | 30.19 |
| 1株当たり株主資本(円) | 1,207.81 | 1,174.10 | 1,177.31 | 1,188.05 | 1,244.72 |

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

| (10億円) | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|---------------------------|----------|----------|----------------|---------|----------|---------|---------|
| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 収益 | | | | | | | |
| 委託・投信募集手数料 | 364.1 | 407.0 | 102.6 | 100.3 | 100.6 | 105.0 | 119.2 |
| 投資銀行業務手数料 | 173.3 | 212.2 | 64.4 | 53.3 | 38.4 | 44.6 | 59.0 |
| アセットマネジメント業務手数料 | 310.2 | 378.2 | 97.2 | 96.8 | 92.9 | 102.5 | 122.7 |
| トレーディング損益 | 491.6 | 580.1 | 142.0 | 158.4 | 142.2 | 171.9 | 190.7 |
| プライベートエクイティ・デット投資 関連損益 | 11.9 | 7.6 | 1.6 | 1.2 | 6.3 | 4.4 | 1.6 |
| 金融収益 | 2,620.9 | 2,927.9 | 745.5 | 630.9 | 649.6 | 652.8 | 712.5 |
| 投資持分証券関連損益 | 9.6 | 0.4 | 1.6 | -0.1 | -0.4 | 4.4 | 4.5 |
| その他 | 175.8 | 223.3 | 43.0 | 38.5 | 127.0 | 75.6 | 17.8 |
| 収益合計 | 4,157.3 | 4,736.7 | 1,197.9 | 1,079.4 | 1,156.6 | 1,161.2 | 1,227.9 |
| 金融費用 | 2,595.3 | 2,844.3 | 696.0 | 626.6 | 633.3 | 645.8 | 676.2 |
| 収益合計(金融費用控除後) | 1,562.0 | 1,892.5 | 502.0 | 452.7 | 523.3 | 515.5 | 551.8 |
| 金融費用以外の費用 | 1,288.2 | 1,420.5 | 363.7 | 355.0 | 363.0 | 378.8 | 416.5 |
| 税引前当期純利益(損失) | 273.9 | 472.0 | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 |
| 当社株主に帰属する当期純利益(損失) | 165.9 | 340.7 | 101.4 | 72.0 | 104.6 | 92.1 | 91.6 |

連結決算: 主な収益の内訳

(10億円)

| | | 2024年 | 2025年 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|-----------------------------|-------------------|-------|-------|----------|-------|----------|-------|--------------|
| | | 3月期 | 3月期 | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 委託・投信募集手数料 | 委託手数料-株式 | 242.7 | 264.5 | 66.3 | 66.3 | 62.8 | 67.2 | 79.9 |
| | 委託手数料-株式以外 | 15.6 | 17.5 | 4.4 | 4.7 | 4.7 | 4.5 | 3.3 |
| | 投信募集手数料 | 56.2 | 66.1 | 17.3 | 14.0 | 14.3 | 14.3 | 20.9 |
| | その他手数料 | 49.5 | 58.9 | 14.6 | 15.3 | 18.7 | 19.1 | 15.1 |
| | 合計 | 364.1 | 407.0 | 102.6 | 100.3 | 100.6 | 105.0 | 119.2 |
| 投資銀行業務手数料 | 株式 | 45.5 | 52.9 | 17.6 | 8.6 | 3.6 | 5.0 | 15.1 |
| | 債券 | 27.5 | 48.4 | 14.9 | 13.2 | 13.8 | 11.4 | 10.8 |
| | M&A・財務コンサルティングフィー | 61.6 | 78.7 | 22.0 | 24.7 | 15.6 | 19.7 | 24.2 |
| | その他 | 38.8 | 32.2 | 9.8 | 6.7 | 5.4 | 8.4 | 8.9 |
| | 合計 | 173.3 | 212.2 | 64.4 | 53.3 | 38.4 | 44.6 | 59.0 |
| アセットマネジメント 業務手数料 | アセットマネジメントフィー | 193.5 | 235.9 | 61.0 | 60.8 | 58.3 | 64.5 | 81.6 |
| | アセット残高報酬 | 88.2 | 109.1 | 27.8 | 27.6 | 26.3 | 29.0 | 31.8 |
| | カस्टディアルフィー | 28.5 | 33.2 | 8.4 | 8.5 | 8.2 | 9.0 | 9.3 |
| | 合計 | 310.2 | 378.2 | 97.2 | 96.8 | 92.9 | 102.5 | 122.7 |

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

| (10億円) | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|----------------------------|----------|----------|----------|------|----------|-------|-------|
| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| ウェルス・マネジメント部門 ¹ | 119.0 | 166.2 | 44.8 | 35.9 | 38.8 | 45.5 | 58.5 |
| インベストメント・マネジメント部門 | 60.2 | 89.6 | 18.9 | 15.5 | 21.5 | 30.7 | 17.9 |
| ホールセール部門 | 53.9 | 166.3 | 62.4 | 37.5 | 41.9 | 53.1 | 62.3 |
| バンキング部門 ¹ | 15.1 | 16.4 | 4.7 | 3.1 | 3.6 | 3.2 | 4.2 |
| 4セグメント合計税前利益 ¹ | 248.2 | 438.4 | 130.8 | 92.0 | 105.8 | 132.6 | 142.9 |
| その他 ¹ | 36.0 | 35.1 | 6.9 | 5.9 | 54.6 | 2.3 | -10.3 |
| セグメント合計税前利益 | 284.2 | 473.5 | 137.7 | 97.9 | 160.4 | 134.9 | 132.6 |
| 営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益 | -10.3 | -1.5 | 0.6 | -0.2 | -0.1 | 1.8 | 2.7 |
| 税前利益(損失) | 273.9 | 472.0 | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 |

地域別情報:税前利益(損失)²

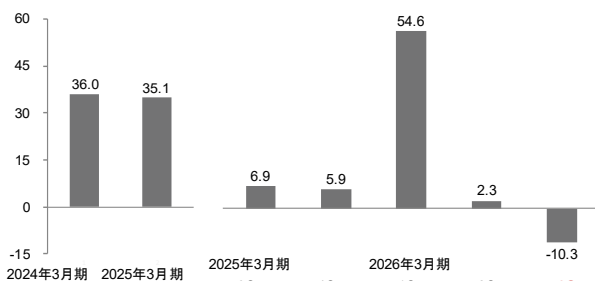
| (10億円) | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|-----------|----------|----------|----------|------|----------|-------|-------|
| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 米州 | 14.7 | 65.8 | 18.3 | 14.4 | 15.6 | 29.1 | 17.1 |
| 欧州 | -33.1 | 20.3 | 16.2 | 5.9 | -7.0 | 0.4 | -10.6 |
| アジア・オセアニア | 23.8 | 50.9 | 17.3 | 8.1 | 18.9 | 15.4 | 9.8 |
| 海外合計 | 5.4 | 137.0 | 51.8 | 28.5 | 27.5 | 44.9 | 16.3 |
| 日本 | 268.5 | 335.0 | 86.5 | 69.3 | 132.8 | 91.8 | 118.9 |
| 税前利益(損失) | 273.9 | 472.0 | 138.3 | 97.7 | 160.3 | 136.6 | 135.2 |

- 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を選及修正
- 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)

(10億円)



| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2026年3月期 | 2026年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 経済的ヘッジ取引に関連する損益 | 2.0 | -5.8 | -7.0 | 2.2 | 1.1 | -0.2 | -1.0 |
| 営業目的で保有する投資持分証券の実現損益 | 21.0 | 1.5 | 0.6 | 0.3 | 0.0 | 2.2 | 1.1 |
| 関連会社損益の持分額 | 46.4 | 51.2 | 15.2 | 9.7 | 12.3 | 12.4 | 17.6 |
| 本社勘定 | -12.0 | -5.9 | -1.0 | -5.1 | -11.6 | -15.2 | -9.6 |
| その他 ¹ | -21.5 | -5.9 | -1.0 | -1.2 | 52.9 | 3.0 | -18.5 |
| 税前利益(損失) ¹ | 36.0 | 35.1 | 6.9 | 5.9 | 54.6 | 2.3 | -10.3 |

1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正

ウェルス・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 3Q | 前四半期比 | 前年同期比 |
|----------------------------|----------|----------|----------|-------|----------|-------|---------|--------|--------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | |
| 委託・投信募集手数料 | 173.5 | 183.6 | 47.1 | 43.3 | 46.2 | 52.1 | 58.7 | 12.8% | 24.7% |
| うち株式委託手数料 | 80.2 | 72.2 | 18.1 | 17.4 | 18.3 | 22.7 | 24.7 | 9.1% | 36.8% |
| うち投資信託募集手数料 | 54.9 | 65.9 | 17.3 | 14.3 | 14.2 | 14.3 | 20.8 | 45.6% | 20.2% |
| 販売報酬 | 55.9 | 52.5 | 11.5 | 10.8 | 11.6 | 12.6 | 13.1 | 4.1% | 14.1% |
| 投資銀行業務手数料等 | 23.1 | 27.3 | 8.7 | 3.7 | 5.2 | 3.9 | 8.8 | 122.1% | 1.0% |
| 投資信託残高報酬等 | 124.4 | 156.7 | 40.1 | 40.2 | 38.7 | 42.9 | 46.4 | 8.3% | 15.9% |
| 純金融収益等 ¹ | 10.1 | 13.4 | 4.3 | 1.9 | 4.0 | 5.0 | 5.4 | 9.0% | 27.4% |
| 収益合計(金融費用控除後) ¹ | 387.0 | 433.6 | 111.6 | 99.9 | 105.8 | 116.5 | 132.5 | 13.7% | 18.7% |
| 金融費用以外の費用 ¹ | 268.0 | 267.4 | 66.8 | 64.0 | 67.0 | 71.0 | 74.0 | 4.3% | 10.8% |
| 税前利益 ¹ | 119.0 | 166.2 | 44.8 | 35.9 | 38.8 | 45.5 | 58.5 | 28.5% | 30.5% |
| 国内投信販売金額 | 3,271.8 | 3,882.8 | 942.0 | 838.3 | 827.1 | 854.6 | 1,178.9 | 37.9% | 25.1% |
| 株式投信 | 2,525.9 | 3,107.2 | 719.5 | 712.3 | 724.1 | 708.5 | 984.0 | 38.9% | 36.8% |
| 外国投信 | 745.9 | 775.6 | 222.5 | 126.0 | 102.9 | 146.0 | 194.3 | 33.1% | -12.7% |
| その他 | | | | | | | | | |
| 個人向け国債販売額 (約定ベース) | 398.9 | 317.9 | 89.0 | 76.8 | 82.0 | 33.5 | 80.8 | 141.4% | -9.2% |

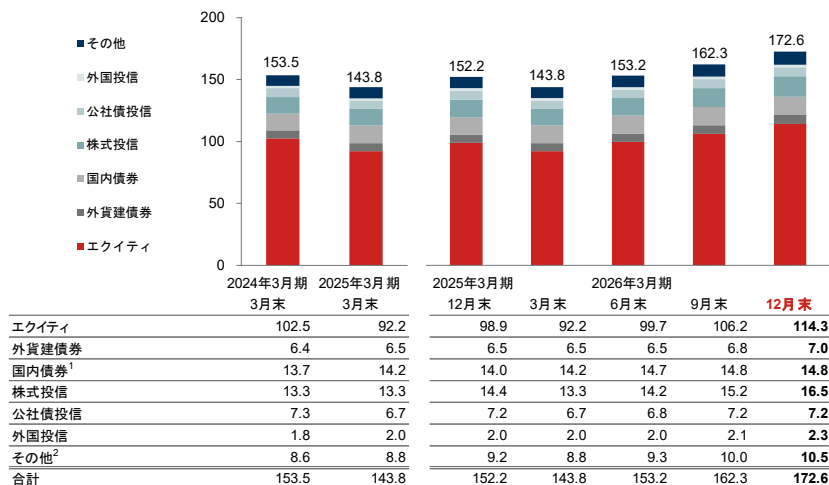
1. 2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正

26

ウェルス・マネジメント部門関連データ(2)

ウェルス・マネジメント部門顧客資産残高

(兆円)

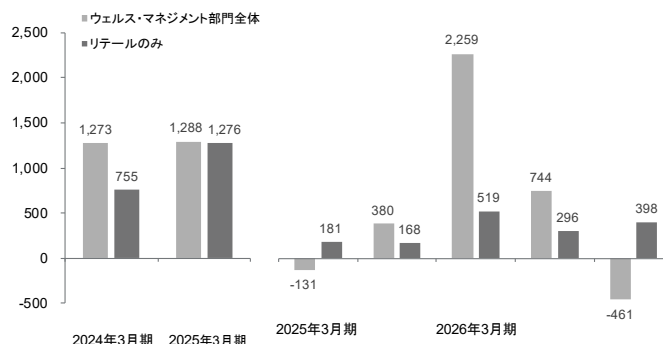


1. CB・ワラントを含む
2. 年金保険契約資産残高を含む

ウェルス・マネジメント部門関連データ(3)

現金本券差引¹⁾

(10億円)



| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 3Q | 2025年3月期 4Q | 2026年3月期 1Q | 2026年3月期 2Q | 2026年3月期 3Q |
|----------------------|----------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ウェルス・マネジメント部門全体 | 1,273 | 1,288 | -131 | 380 | 2,259 | 744 | -461 |
| リテールのみ ²⁾ | 755 | 1,276 | 181 | 168 | 519 | 296 | 398 |
| 入金預り ³⁾ | 5,305 | 6,256 | 1,477 | 1,381 | 1,809 | 1,753 | 2,062 |

1. 増減金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

2. リテールは、ウェルス・マネジメント部門全体の金額から、法人課、プライベート・ウェルス・マネジメントグループ及びワークプレイス・サービスを除いて算定。2025年3月期1Qから集計範囲を変更したことから、2024年3月期の数字を選定

3. リテールのみ対象。2025年3月期1Qから集計範囲を変更したことから、2024年3月期の数字を選定

ウェルス・マネジメント部門関連データ(4)

口座数

| (千口座) | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|------------------------|----------|----------|----------|-------|----------|-------|--------------|
| | 3月末 | 3月末 | 12月末 | 3月末 | 6月末 | 9月末 | 12月末 |
| 残あり顧客口座数 | 5,496 | 5,934 | 5,925 | 5,934 | 5,965 | 5,998 | 6,075 |
| 株式保有口座数 | 2,972 | 3,285 | 3,275 | 3,285 | 3,292 | 3,292 | 3,301 |
| NISA開設口座数 ¹ | 1,780 | 1,779 | 1,771 | 1,779 | 1,800 | 1,816 | 1,877 |
| オンラインサービス口座数 | 5,582 | 5,974 | 5,881 | 5,974 | 6,053 | 6,140 | 6,278 |

個人新規開設口座数・IT比率²

| (千口座) | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|-------------------|----------|----------|----------|-----|----------|-----|------------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 個人新規開設口座数 | 334 | 372 | 99 | 109 | 103 | 103 | 113 |
| IT比率 ² | | | | | | | |
| 売買件数ベース | 84% | 85% | 85% | 87% | 86% | 85% | 83% |
| 売買金額ベース | 59% | 60% | 59% | 62% | 59% | 60% | 58% |

- 2024年6月末時点の数値からジュニアNISA口座数を含まない
- 現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|---------------|----------|-------|----------|------|----------|------|----------|--------|-----------|-----------|
| | 3月期 | 3月期 | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | | | |
| 事業収益 | 137.2 | 163.7 | 42.0 | 43.3 | 40.6 | 44.1 | 57.8 | 31.3% | 37.8% | |
| 投資損益 | 16.9 | 28.8 | 3.7 | -0.2 | 9.9 | 16.8 | 3.1 | -81.7% | -17.9% | |
| 収益合計(金融費用控除後) | 154.1 | 192.5 | 45.7 | 43.0 | 50.6 | 60.8 | 60.9 | 0.1% | 33.2% | |
| 金融費用以外の費用 | 93.9 | 102.9 | 26.8 | 27.5 | 29.0 | 30.1 | 43.0 | 42.7% | 60.5% | |
| 税前利益(損失) | 60.2 | 89.6 | 18.9 | 15.5 | 21.5 | 30.7 | 17.9 | -41.6% | -5.3% | |

運用資産残高-会社別¹

(兆円)

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | |
|---|----------|------|----------|------|----------|-------|----------|--|
| | 3月末 | 3月末 | 12月末 | 3月末 | 6月末 | 9月末 | 12月末 | |
| 野村アセットマネジメント | 91.0 | 88.1 | 92.2 | 88.1 | 93.0 | 99.7 | 108.4 | |
| ノムラ・アセットマネジメント・ インターナショナル 他 ² | 5.6 | 5.5 | 6.3 | 5.5 | 8.8 | 9.3 | 34.9 | |
| 運用資産残高(グロス) ³ | 96.6 | 93.6 | 98.5 | 93.6 | 101.8 | 109.1 | 143.3 | |
| グループ会社間の重複資産 | 7.6 | 4.3 | 4.9 | 4.3 | 7.5 | 7.8 | 8.6 | |
| 運用資産残高(ネット) ⁴ | 89.0 | 89.3 | 93.5 | 89.3 | 94.3 | 101.2 | 134.7 | |

- 2024年4月1日付の米州の総編再編成に伴い、2025年3月期以降の野村アセットマネジメントの運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産から同額の運用資産残高が減少。2025年12月1日に買収が完了したマッコーリーグループのプライベート・アセットマネジメント事業の運用資産残高が含まれる
- 2025年4月1日付の新社フィナンシャル・リサーチ&コンサルティングのインベストメント・マネジメント部門への移管に伴い、ノムラ・コーポレート・リサーチ&アセット・マネジメント他の運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産において同額の運用資産残高が増加。野村グループの米国におけるインベストメント・マネジメント事業の中核会社であるNomura Capital ManagementおよびNomura Corporate Research and Asset Managementと買収事業を統合した結果(ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル)を新設
- インベストメント・マネジメント部門全体の運用資産の運用資産の集約合計(グロス)
- 運用資産残高(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したものである

30

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門 資金流入ービジネス別¹

(10億円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|----------------|----------|----------|----------|-----|----------|-----|------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 国内投資信託ビジネス | 1,845 | 2,113 | 489 | 274 | -207 | 525 | 71 |
| うちETF | 473 | 987 | -352 | 673 | -667 | 77 | -105 |
| 国内投資顧問・海外ビジネス他 | 1,915 | 536 | -229 | 40 | 315 | -26 | 44 |
| 資金流入ー合計 | 3,760 | 2,648 | 260 | 314 | 108 | 498 | 115 |

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(億円)

| | 2024年3月期 3月末 | 2025年3月期 3月末 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------|-------|----------|-------|-------|
| | | | 12月末 | 3月末 | 6月末 | 9月末 | 12月末 |
| 国内公募投信残高 | | | | | | | |
| マーケット | 227.0 | 236.3 | 246.0 | 236.3 | 254.3 | 276.8 | 301.6 |
| 野村アセットマネジメントシェア | 26% | 25% | 25% | 25% | 25% | 24% | 24% |
| 国内公募株式投信残高 | | | | | | | |
| マーケット | 211.0 | 221.5 | 230.3 | 221.5 | 239.0 | 260.4 | 284.7 |
| 野村アセットマネジメントシェア | 25% | 24% | 24% | 24% | 23% | 23% | 23% |
| 国内公募社債投信残高 | | | | | | | |
| マーケット | 16.0 | 14.8 | 15.7 | 14.8 | 15.3 | 16.4 | 16.9 |
| 野村アセットマネジメントシェア | 44% | 44% | 45% | 44% | 44% | 44% | 43% |
| ETF残高 | | | | | | | |
| マーケット | 89.6 | 85.8 | 89.4 | 85.8 | 92.3 | 100.4 | 109.9 |
| 野村アセットマネジメントシェア | 43% | 44% | 44% | 44% | 44% | 44% | 44% |

- 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入
- 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 3Q | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|---------------|----------|----------|----------|-------|----------|-------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | |
| 収益合計(金融費用控除後) | 866.1 | 1,057.9 | 290.5 | 259.2 | 261.1 | 279.2 | 313.9 | 12.4% | 8.0% |
| 金融費用以外の費用 | 812.2 | 891.7 | 228.2 | 221.7 | 219.2 | 226.0 | 251.6 | 11.3% | 10.3% |
| 税前利益(損失) | 53.9 | 166.3 | 62.4 | 37.5 | 41.9 | 53.1 | 62.3 | 17.2% | -0.1% |

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2025年3月期 | | 2026年3月期 | | 3Q | 前四 半期比 | 前年 同期比 |
|----------------|----------|----------|----------|-------|----------|-------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | | |
| フィクスト・インカム | 420.3 | 499.2 | 139.9 | 105.8 | 124.8 | 121.9 | 136.9 | 12.3% | -2.1% |
| エクイティ | 286.8 | 375.4 | 99.1 | 101.1 | 98.3 | 113.8 | 119.9 | 5.4% | 21.0% |
| グローバル・マーケット | 707.1 | 874.6 | 239.0 | 206.9 | 223.1 | 235.7 | 256.8 | 9.0% | 7.5% |
| インベストメント・バンキング | 159.0 | 183.3 | 51.5 | 52.3 | 37.9 | 43.5 | 57.1 | 31.3% | 10.8% |
| 収益合計(金融費用控除後) | 866.1 | 1,057.9 | 290.5 | 259.2 | 261.1 | 279.2 | 313.9 | 12.4% | 8.0% |

人員数

| | 2024年3月期 3月末 | 2025年3月期 3月末 | 2025年3月期 12月末 | 2026年3月期 3月末 | 2026年3月期 6月末 | 2026年3月期 9月末 | 12月末 |
|------------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 日本 | 14,870 | 14,877 | 14,977 | 14,877 | 15,317 | 15,144 | 15,061 |
| 欧州 | 3,053 | 3,133 | 3,114 | 3,133 | 3,155 | 3,173 | 3,237 |
| 米州 | 2,440 | 2,417 | 2,433 | 2,417 | 2,476 | 2,450 | 3,030 |
| アジア・オセアニア ¹ | 6,487 | 6,815 | 6,736 | 6,815 | 6,960 | 7,109 | 7,273 |
| 合計 | 26,850 | 27,242 | 27,260 | 27,242 | 27,908 | 27,876 | 28,601 |

1. インドボワイ・オフィスを含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2026年3月期第3四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と買、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com/jp/index.html>)、EDINET(<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/week0010.aspx>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<https://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/